平成 19 年 10 月 25 日

各　　位

会 社 名　ミ ヤ コ 株 式 会 社
代 表 者 名　代表取締役社長　東田　勝
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号３４２４）
問 合 せ 先　管 理 部 長　山内　一宏
電 話 番 号　（０６）６３５２－６９３１

平成20年３月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年５月15日に公表しました平成20年３月期の中間期（平成19年４月１日～平成19年９月30日）ならびに同通期（平成19年４月１日～平成20年３月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせします。

記

１．平成20年３月期 業績予想の修正

（1）中間期（平成 19 年４月１日～平成 19 年９月 30 日）　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（Ａ）	4,100	370	400	240
今回修正予想（Ｂ）	3,628	261	292	173
増減額（Ｂ－Ａ）	△ 472	△ 109	△ 108	△ 67
増減率	△ 11.5%	△ 29.5%	△ 27.0%	△ 27.9%
前期実績（平成 19 年３月期）	3,902	317	342	194

（2）通期　（平成 19 年４月１日～平成 20 年３月 31 日）　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（Ａ）	8,400	880	930	550
今回修正予想（Ｂ）	7,500	620	680	410
増減額（Ｂ－Ａ）	△ 900	△ 260	△ 250	△ 140
増減率	△ 10.7%	△ 29.5%	△ 26.9%	△ 25.5%
前期実績（平成 19 年３月期）	8,007	788	845	488

２．修正の理由

当社をとりまく環境は、持家を中心とした新設住宅着工の低迷とリフォーム需要の不振から第１四半期において市場環境が悪化しておりました。さらに６月20日に耐震偽装の再発防止を狙った改正建築基準法が施行され建築確認審査の期間が延びるなどの影響で７月～８月の住宅着工が急速に落込み（前年同期比33.5%減）大変厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当中間期の売上高は36億２千８百万円となり営業利益ならびに経常利益、当期純利益とも業績予想を下回る結果となりました。

また、通期の業績見通しにつきましては、改正建築基準法に伴う審査の厳格化から、着工遅れ等の混乱が生じておりましたが、審査基準が通達されたことにより収束の方向に向かうと思われます。ただ判断基準が統一されるまでには一定の時間を要することから下半期の住宅設備市場に与える影響は大きく、本年度後半の売上高も減少すると判断し、業績予想を修正させていただきます。

（注）本資料に記載しております業績の予想値につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますので、実際の業績は、業況の変化などにより、異なる結果となる可能性があります。

以上